2008年度決算説明会

2009年4月30日
株式会社村田製作所
1. 2008年度 業績概要

2008年4月～2009年3月
連結累計期間
当期の業績概要

（億円）

営業利益・税引前当期純利益・当期純利益

売上高

04年度 05年度 06年度 07年度 08年度

▲ 200

▲ 200

当期の業績概要

（億円）

営業利益・税引前当期純利益・当期純利益

売上高

04年度 05年度 06年度 07年度 08年度

▲ 200

▲ 200

当期の業績概要

（億円）

営業利益・税引前当期純利益・当期純利益

売上高

04年度 05年度 06年度 07年度 08年度

▲ 200

▲ 200

当期の業績概要

（億円）

営業利益・税引前当期純利益・当期純利益

売上高

04年度 05年度 06年度 07年度 08年度

▲ 200

▲ 200
四半期の売上・受注・注残推移

売上高・受注高（億円）

受注残高（億円）

08Q4受注高 923億円
08Q4売上高 931億円
08Q4受注残高 350億円
製品別売上高推移

04年度 05年度 06年度 07年度 08年度

(億円)

その他製品
モジュール製品
高周波デバイス
圧電製品
コンデンサ

All Rights Reserved, Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. 2007
製品別売上高（2008年度通期）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2007年度通期</th>
<th>2008年度通期</th>
<th>増減</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>(億円)   (%)</td>
<td>(億円)   (%)</td>
<td>(億円) (%)</td>
</tr>
<tr>
<td>コンデンサ</td>
<td>2,494  39.6</td>
<td>1,806  34.6</td>
<td>▲688 ▲27.6</td>
</tr>
<tr>
<td>圧電製品</td>
<td>927  14.7</td>
<td>763  14.6</td>
<td>▲164 ▲17.7</td>
</tr>
<tr>
<td>高周波デバイス</td>
<td>1,054 16.7</td>
<td>1,103 21.1</td>
<td>+48  +4.6</td>
</tr>
<tr>
<td>モジュール製品</td>
<td>791  12.6</td>
<td>649  12.5</td>
<td>▲142 ▲17.9</td>
</tr>
<tr>
<td>その他製品</td>
<td>1,029 16.4</td>
<td>897  17.2</td>
<td>▲132 ▲12.8</td>
</tr>
<tr>
<td>製品売上高計</td>
<td>6,295 100.0</td>
<td>5,218 100.0</td>
<td>▲1,078 ▲17.1</td>
</tr>
<tr>
<td>製品別売上高</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
| コンデンサ（前期比▲27.6%） | • チップ積層セラミックコンデンサ：すべての用途で大幅に減少
• 用途特化型品：PC及び関連機器向けで大きく減少 |
| 圧電製品（前期比▲17.7%） | • 表面波フィルタ、セラミック発振子、セラミックフィルタ、圧電センサ：通信機器向け、PC及び関連機器で大幅に減少
• 圧電ブザー：AV機器向けで大幅に伸長 |
| 高周波デバイス（前期比＋4.6%） | • 近距離無線通信モジュール：無線LANモジュールが大幅に伸長
• 多層デバイス、アイソレータ：通信機器向けで大幅に減少 |
| モジュール製品（前期比▲17.9%） | • 回路モジュール：携帯電話用の地上デジタルチューナが大幅に増加、通信機器用モジュールが大きく減少
• 電源：AV機器向け、通信機器向けで大幅に減少 |
| その他製品（前期比▲12.8%） | • EMI除去フィルタ：AV機器向け、PC及び通信機器向けで大幅に減少
• ジャイロセンサ：AV機器向けで大きく減少
• チップコイル：通信機器向けで減少 |
用途別売上高推移

（億円）

04年度 05年度 06年度 07年度 08年度

家電・その他 カーエレ PC及び関連機器 通信 AV
用途別売上高（2008年度通期）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2007年度通期</th>
<th>2008年度通期</th>
<th>増減</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>（億円） (%)</td>
<td>（億円） (%)</td>
<td>（億円） (%)</td>
</tr>
<tr>
<td>AV</td>
<td>943 15.0</td>
<td>755 14.5</td>
<td>▲187 ▲19.9</td>
</tr>
<tr>
<td>通信</td>
<td>2,523 40.1</td>
<td>2,271 43.5</td>
<td>▲252 ▲10.0</td>
</tr>
<tr>
<td>PC及び関連機器</td>
<td>1,367 21.7</td>
<td>1,011 19.4</td>
<td>▲356 ▲26.1</td>
</tr>
<tr>
<td>カーエレ</td>
<td>674 10.7</td>
<td>540 10.3</td>
<td>▲134 ▲19.9</td>
</tr>
<tr>
<td>家電・その他</td>
<td>790 12.5</td>
<td>641 12.3</td>
<td>▲149 ▲18.8</td>
</tr>
<tr>
<td>製品売上高計</td>
<td>6,295 100.0</td>
<td>5,218 100.0</td>
<td>▲1,078 ▲17.1</td>
</tr>
</tbody>
</table>
### 用途別売上高

<table>
<thead>
<tr>
<th>分類</th>
<th>用途別売上高</th>
</tr>
</thead>
</table>
| AV機器（前期比▲19.9%） | ・薄型テレビ向け、DSC向け、ゲーム機向けが大幅に減少  
                        | ・携帯型オーディオプレーヤ向けで大幅に増加                                     |
| 通信（前期比▲10.0% ）  | ・第3世代機向けに無線LANモジュールが大幅に増加  
                        | ・通信機器全般にチップ積層セラミックコンデンサ、表面波フィルタが大きく減少        |
| PC及び関連機器（前期比▲26.1%） | ・すべてのセットで大幅に減少                                               |
| カーエレ（前期比▲19.9%） | ・カーオーディオ向け、ソナー向け、RKE向けが減少                                  |

※RKE：リモート・キーレス・エントリー
業績概況（2008年度通期）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2007年度通期</th>
<th>2008年度通期</th>
<th>増減</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>6,317（億円）100.0%</td>
<td>5,239（億円）100.0%</td>
<td>▲1,077（億円） ▲17.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>営業利益（▲損失）</td>
<td>1,158（億円）18.3%</td>
<td>▲163（億円） ▲3.1%</td>
<td>▲1,320（億円） —</td>
</tr>
<tr>
<td>税引前利益（▲損失）</td>
<td>1,218（億円）19.3%</td>
<td>▲103（億円） ▲2.0%</td>
<td>▲1,321（億円） —</td>
</tr>
<tr>
<td>当期純利益</td>
<td>774（億円）12.3%</td>
<td>36（億円）0.7%</td>
<td>▲738（億円） ▲95.4%</td>
</tr>
</tbody>
</table>
2008年度営業利益変動要因

08年度
営業損失 ▲163
減価償却費 増加 ▲ 160
為替変動 (推計値) ▲ 170
固定費の減少 ▲ 170
合理化効果 (推計値) ▲ 120

07年度
営業利益 1,158
操業度減 (推計値) ▲ 400
為替変動 (推計値) ▲ 170
減価償却費増加 ▲ 160
のれんの減損 ▲ 98
合理化効果 (推計値) ▲ 210
固定費の減少 ▲ 120
合理化効果 (推計値) ▲ 210

08年度営業損失 ▲ 163
業績概要

営業利益・税引前四半期純利益・四半期純利益(▲損失)（億円）

売上高（億円）

営業利益（▲損失）
税引前四半期純利益(▲損失)
四半期純利益（▲損失）

08年度第1四半期 08年度第2四半期 08年度第3四半期 08年度第4四半期
業績概況 (2008年度第4四半期)

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2007年度第4四半期 (億円)</th>
<th>2008年度第4四半期 (億円)</th>
<th>増減 (億円)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>1,521 100.0</td>
<td>931 100.0</td>
<td>▲590 ▲38.8</td>
</tr>
<tr>
<td>営業利益（▲損失）</td>
<td>215 14.1</td>
<td>▲402 ▲43.1</td>
<td>▲616 -</td>
</tr>
<tr>
<td>税引前利益（▲損失）</td>
<td>241 15.9</td>
<td>▲419 ▲44.9</td>
<td>▲660 -</td>
</tr>
<tr>
<td>当期純利益（▲損失）</td>
<td>159 10.4</td>
<td>▲141 ▲15.2</td>
<td>▲300 -</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2008年度第3四半期末 (億円)</th>
<th>2008年度第4四半期末 (億円)</th>
<th>増減 (億円)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>期末たな卸残高</td>
<td>1,179</td>
<td>941</td>
<td>▲238 ▲20.2</td>
</tr>
</tbody>
</table>
2. 2009年度 業績予想

（2009年4月〜2010年3月）
部品需要予測

携帯電話

12.6億台（2008年度） → 12.4億台（2009年度）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2008年度</th>
<th>2009年度前提</th>
<th>通期伸率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>上期</td>
<td>下期</td>
<td>通期</td>
</tr>
<tr>
<td>部品需要台数</td>
<td>7.0</td>
<td>5.7</td>
<td>12.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（※当社推定値）

PC

2.8億台（2008年度） → 2.8億台（2009年度）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2008年度</th>
<th>2009年度前提</th>
<th>通期伸率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>上期</td>
<td>下期</td>
<td>通期</td>
</tr>
<tr>
<td>部品需要台数</td>
<td>1.6</td>
<td>1.2</td>
<td>2.8</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（※当社推定値）
### 2009年度の業績予想

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2008年度実績</th>
<th>上期予想</th>
<th>下期予想</th>
<th>2009年度通期予想</th>
<th>増減</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>金額</td>
<td>構成比</td>
<td>金額</td>
<td>金額</td>
<td>金額</td>
</tr>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>5,239</td>
<td>100</td>
<td>2,350</td>
<td>2,550</td>
<td>4,900</td>
</tr>
<tr>
<td>営業利益（▲損失）</td>
<td>▲163</td>
<td>▲3.1</td>
<td>▲80</td>
<td>0</td>
<td>▲80</td>
</tr>
<tr>
<td>税引前利益（▲損失）</td>
<td>▲103</td>
<td>▲2.0</td>
<td>▲60</td>
<td>20</td>
<td>▲40</td>
</tr>
<tr>
<td>当期純利益（▲損失）</td>
<td>36</td>
<td>0.7</td>
<td>▲30</td>
<td>10</td>
<td>▲20</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※四半期別売上高
Q1:1,160億円、Q2:1,190億円、Q3:1,370億円、Q4:1,180億円
2009年度業績予想 利益変動要因

（億円）

合理化効果（推計値）+250
操業度増（推計値）+330
減価償却費の減少+110
固定費の減少+100
その他+33

2008年度営業損失▲163
売価値下げ（推計値）▲670
為替変動（推計値）▲70

2009年度営業損失（予想）▲80
製品別売上予想

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2008年度実績（前期比）</th>
<th>2009年度予想（前期比）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>コンデンサ</td>
<td>▲27.6%</td>
<td>▲12%程度</td>
</tr>
<tr>
<td>圧電製品</td>
<td>▲17.7%</td>
<td>▲3%程度</td>
</tr>
<tr>
<td>高周波デバイス</td>
<td>＋4.6%</td>
<td>▲3%程度</td>
</tr>
<tr>
<td>モジュール製品</td>
<td>▲17.9%</td>
<td>▲3%程度</td>
</tr>
<tr>
<td>その他製品</td>
<td>▲12.8%</td>
<td>▲5%程度</td>
</tr>
</tbody>
</table>
用途別売上予想

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2008年度実績（前期比）</th>
<th>2009年度予想（前期比）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>AV</td>
<td>▲19.9%</td>
<td>▲12%程度</td>
</tr>
<tr>
<td>通信</td>
<td>▲10.0%</td>
<td>▲3%程度</td>
</tr>
<tr>
<td>PC及び関連機器</td>
<td>▲26.1%</td>
<td>▲7%程度</td>
</tr>
<tr>
<td>カーエレ</td>
<td>▲19.9%</td>
<td>▲7%程度</td>
</tr>
<tr>
<td>家電・その他</td>
<td>▲18.8%</td>
<td>▲10%程度</td>
</tr>
</tbody>
</table>
業績予想の前提

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2008年度実績</th>
<th>2009年度予想</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>減価償却費</td>
<td>810億円</td>
<td>700億円</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費</td>
<td>468億円</td>
<td>435億円</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>654億円</td>
<td>220億円</td>
</tr>
<tr>
<td>為替レート(US$)</td>
<td>100.54円/US$</td>
<td>95.00円/US$</td>
</tr>
</tbody>
</table>
収益改善策

営業利益改善のための施策

<table>
<thead>
<tr>
<th>改善効果内訳（概算）</th>
<th>年間効果額（最新見通し）</th>
<th>08F</th>
<th>09F</th>
<th>10F</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>派遣・請負人員の削減</td>
<td>240</td>
<td>40</td>
<td>200</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>人件費・経費・生産関連費用の削減</td>
<td>170</td>
<td>55</td>
<td>100</td>
<td>15</td>
</tr>
<tr>
<td>減価償却費の低減</td>
<td>100</td>
<td>-10</td>
<td>110</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>30</td>
<td></td>
<td>10</td>
<td>20</td>
</tr>
<tr>
<td>固定費の削減</td>
<td>300</td>
<td>45</td>
<td>220</td>
<td>35</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>540</td>
<td>85</td>
<td>420</td>
<td>35</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※派遣・請負人員の削減（08年9月末実績→09年3月末実績）
- 国内 4,000名
- 海外 500名
2009年度（10年3月期）の配当（予定）
1株当たり年間70円（うち中間配当35円）

2008年度（09年3月期）の配当
1株当たり年間100円
（中間配当50円/期末配当予定50円）

※当配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります。
当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したもので、実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すことは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のもののが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。